

開放型物置(一般地域1形)

アウトスペース 取付け説明書

この説明書は、施工完了後、施主様にお渡し願います。

——— お願い!! ———

- ◎組立てのネジ・ボルトは、締め忘れぬよう、また使用中緩まぬよう、確実に締付けてください。
- ◎タッピンネジの下穴は、太いドリルを使用するとネジの保持力が下がりますのでご注意ください。
- ◎アルミ形材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、電氣的絶縁をしてください。
- ◎取付け時は、野縁以外のところには乗らないでください。
- ◎波板はJIS製品をご使用ください。
- ◎プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。

 トーヨーサッシ

《 施主さまへのお願い 》

トヨーサッシ 製品をご採用いただき誠にありがとうございます。

製品をいつまでも美しく、そして快適にご使用いただくために、是非ご一読ください。そして日々のお手入れにお役立てくださるようお願い致します。

◆ 6ヶ月程度のご使用后、ネジ・ボルト類は増し締めをしてください。

◆ 積雪時には、危険ですので早めに雪をおろしてください。

雪おろしの目安-----一般地域用1形(積雪20~30cm)

◆ 雪おろしなどで屋根の上にあがる場合、野縁以外には乗らないでください。

◆ 腐食の防止は、定期清掃が一番です。

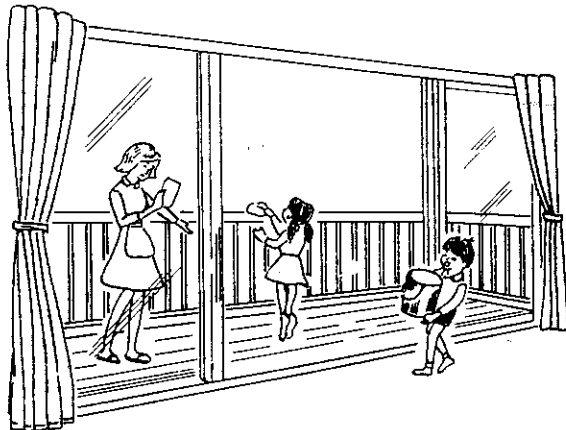
- 簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1~2回程度水洗い、空ぶきをするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい、工業地帯・海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増してください。

● 建物の立地条件と清掃のひん度例

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	6~12回/年
海岸・工業地帯	4回/年
商業地帯	3~4回/年
田園地帯	3回/年

● 汚れの程度と清掃方法

汚れの程度	清掃方法
軽い場合	水でぬらしたぞうきんで拭きます。
ひどい場合	中性洗剤をうすめた液で、汚れを落した後、洗剤が残らぬよう水洗し、空ぶきをします。
著しく腐食しサビが出た場合	中性洗剤をつけた、スコッチブライトまたは、目の細かい紙やすりで、部分的に軽くこすり、汚れやサビを除いた後水洗いし、表面に適した塗料(家具用ワックス等)で補修してください。



(注1) スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。

(注2) こする際は一定方向(アルミ押出しの筋目方向)にこすります。

(注3) 洗剤(薬品類)は、説明書を良く読んでから使用してください。

◆ アルミニウム表面の保護膜に傷をつけますと、腐食を早めます。清掃には、布やスポンジなどの柔らかいものを使用しやむを得ない場合のみ、スコッチブライトをご使用ください。金属製ブラシや金ペラは絶対に使用しないでください。

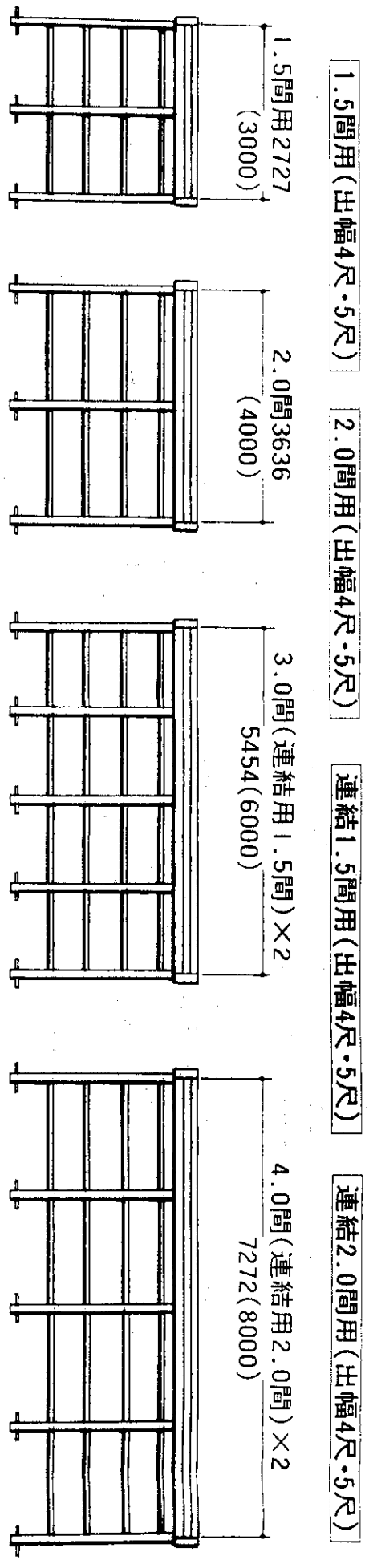
◆ 小石・砂などがアルミの表面についたまま布でこすると、表面を傷つけます。あらかじめ取り除いてください。

◆ 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のものは、アルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。

◆ 波板の耐用年数は、硬質塩化ビニル製とガラス繊維強化ポリエステル製では多少異なりますが、波板の端部や固定穴の周辺にキ裂が生ずる等、老化してきた場合は、早めに波板の交換をお願い致します。

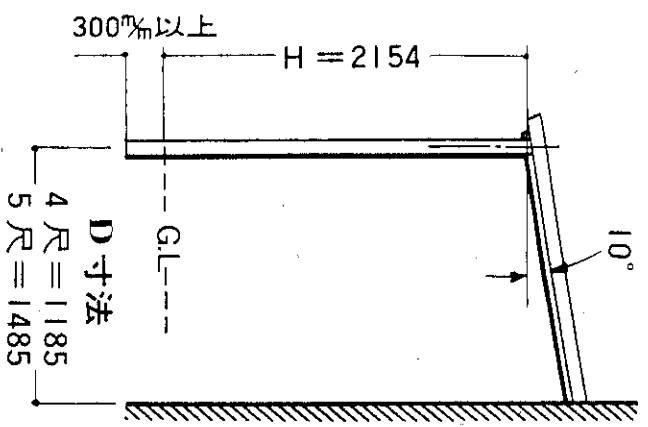
◆ 波板お取り替え時に使用するワンタッチフックボルト(波板固定用)や、その他部品が必要な場合又製品についてのお問い合わせは、最寄りのトヨーサッシ取扱店、又はトヨーサッシ営業店にお問い合わせ致します。

【 姿 図 】 ①基本タイプには、下記の種類があります。
 ※袖付タイプ及びボア-付タイプは、基本タイプに別売りの部材を組合わせてください。

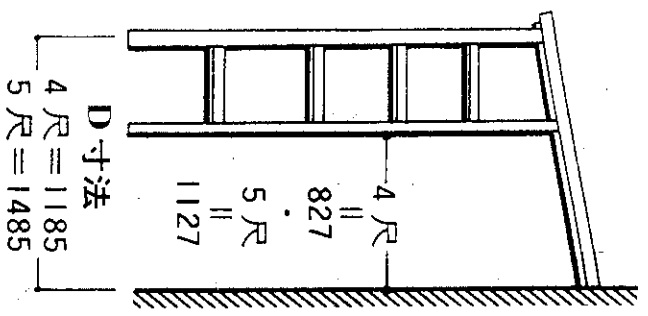


※ () 寸法は関西間を表す。

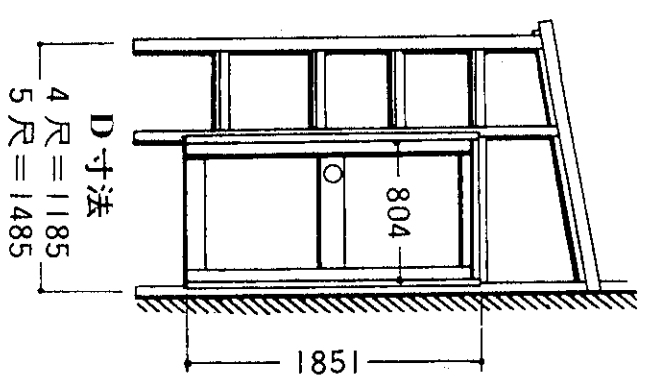
基本タイプ



袖付タイプ

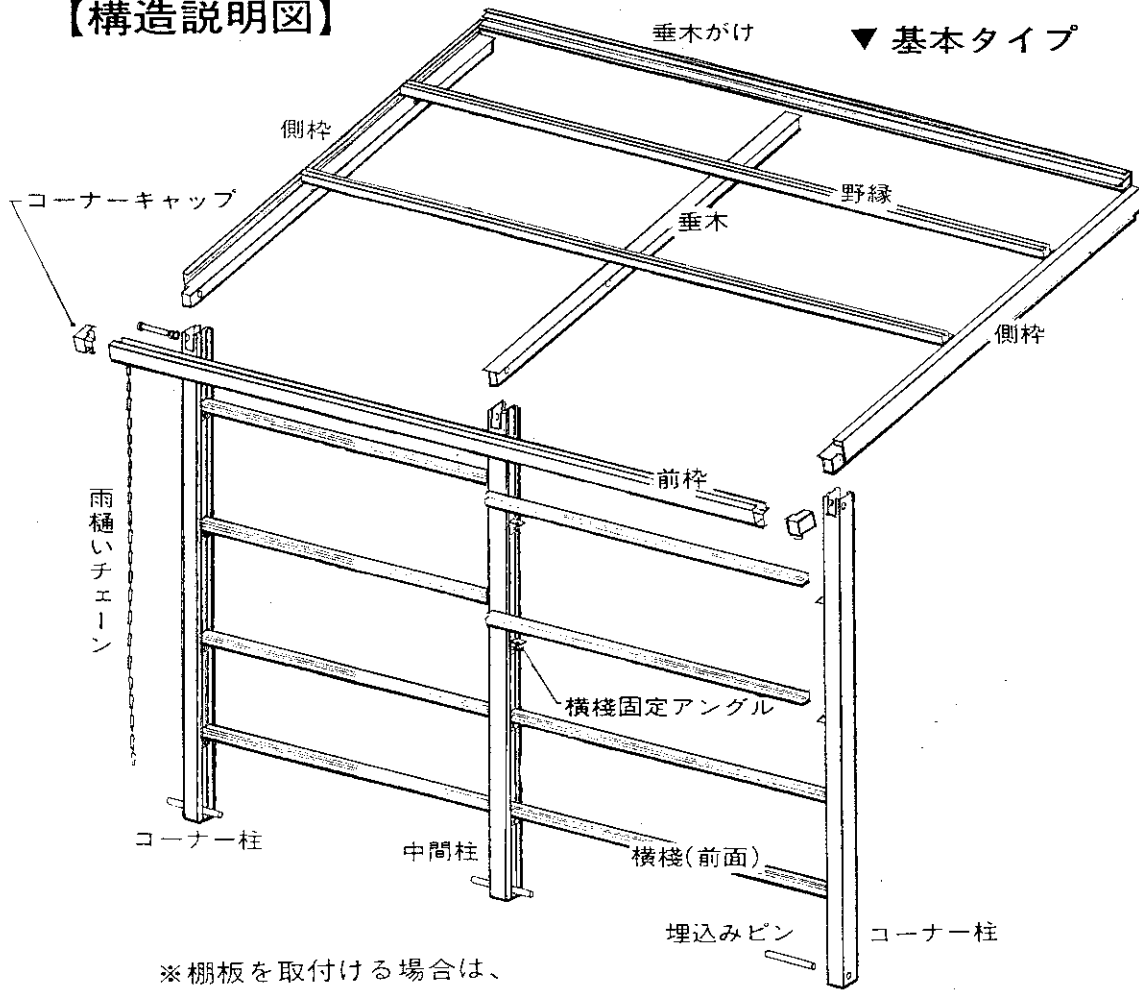


ボア-付タイプ



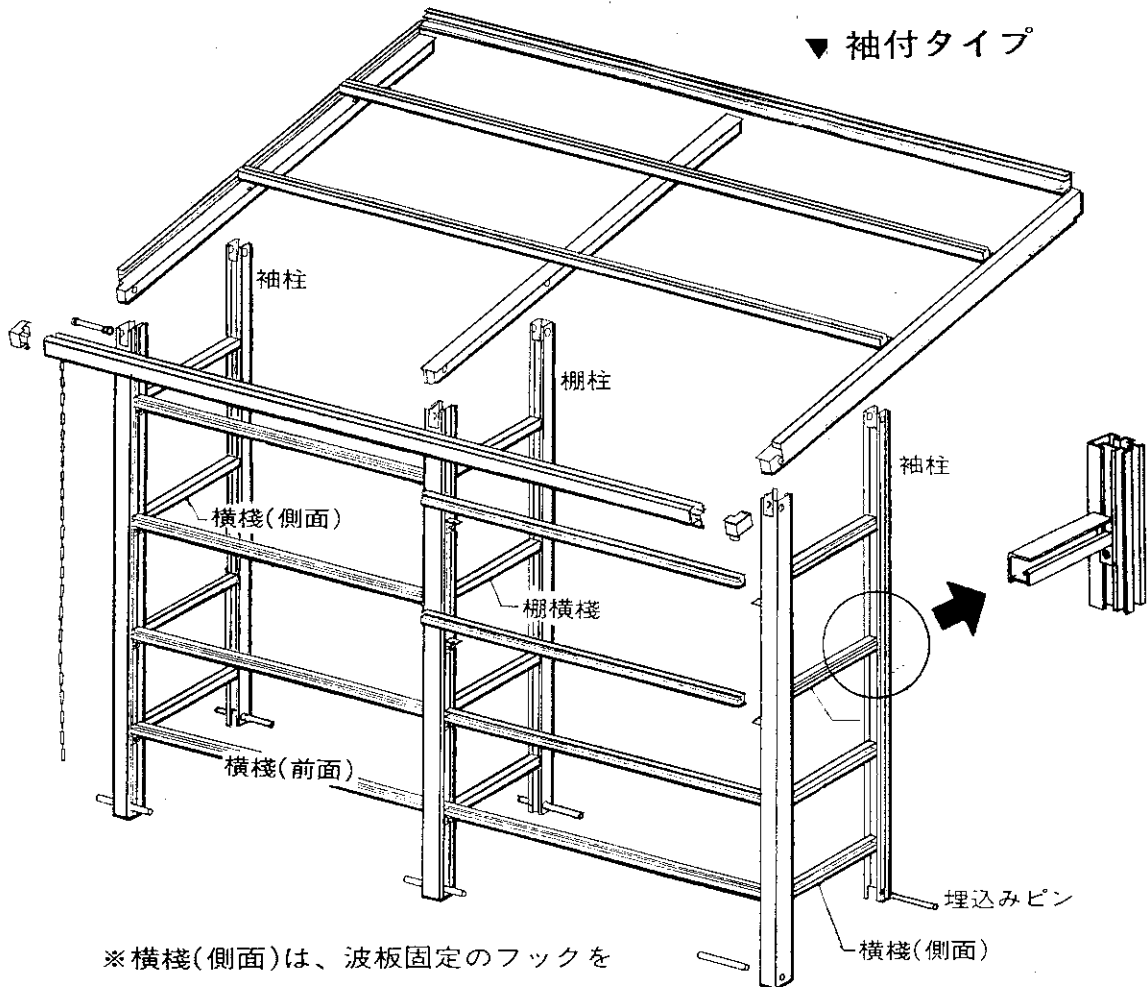
【構造説明図】

▼ 基本タイプ



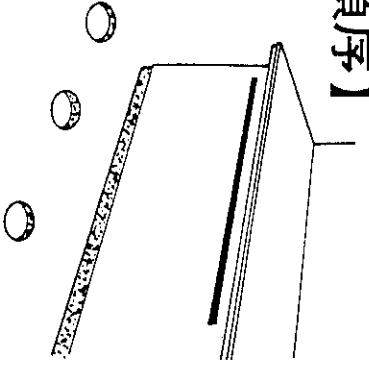
※棚板を取付ける場合は、
棚板ブラケット(W 3 D 40)をご使用ください。

▼ 袖付タイプ



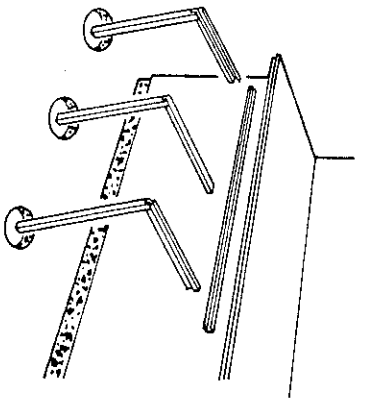
※横棧(側面)は、波板固定のフックを
取付けるため、形材の向きにご注意
ください。

【取付け順序】



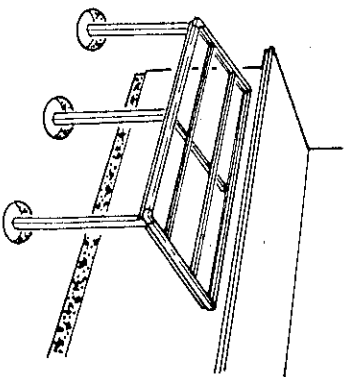
① 垂木がけネジ止め位置に柱又は間柱があるか確認し取付ける。

② 柱埋込み穴の寸法出し。



③ 柱への埋込みピンの差込み。

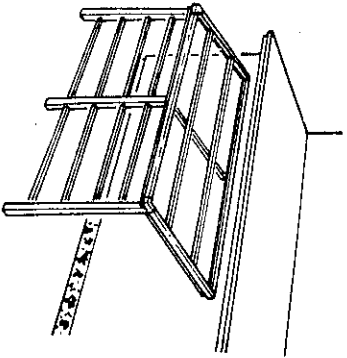
④ 柱と側枠及び垂木の組立てと建て起し



⑤ 側枠と垂木の垂木がけへの取付け。

⑥ 前枠とコーナーキャップの取付け。

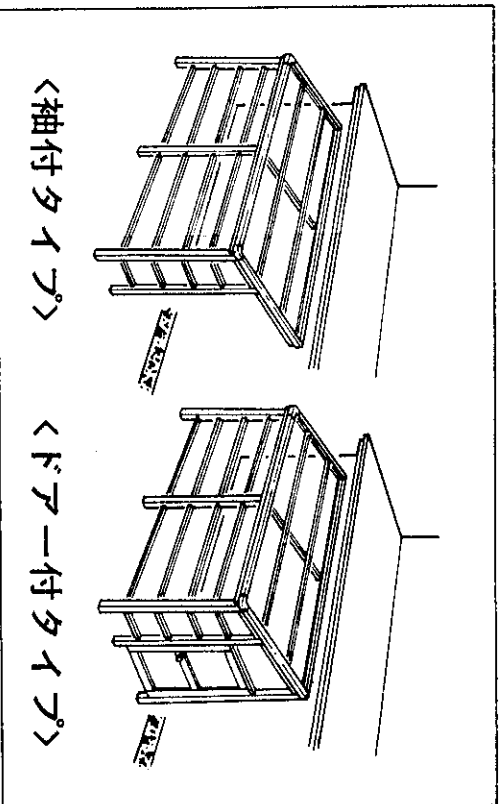
⑦ 野縁の取付け。



⑧ 横棧の取付け。

⑨ 雨樋いちエーシンの取付け。

⑩ 柱の固定と波板の取付け。

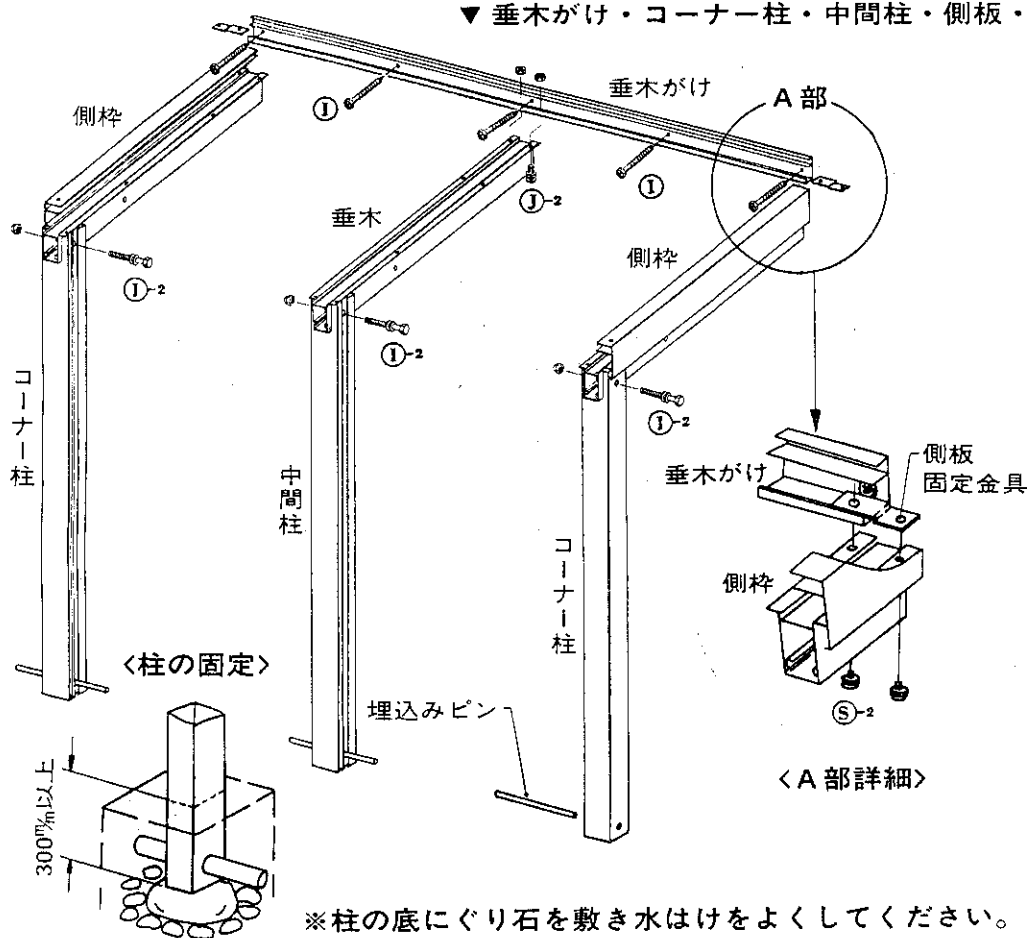


〈袖付タイプ〉

〈ボア付タイプ〉

【取付け詳細図】

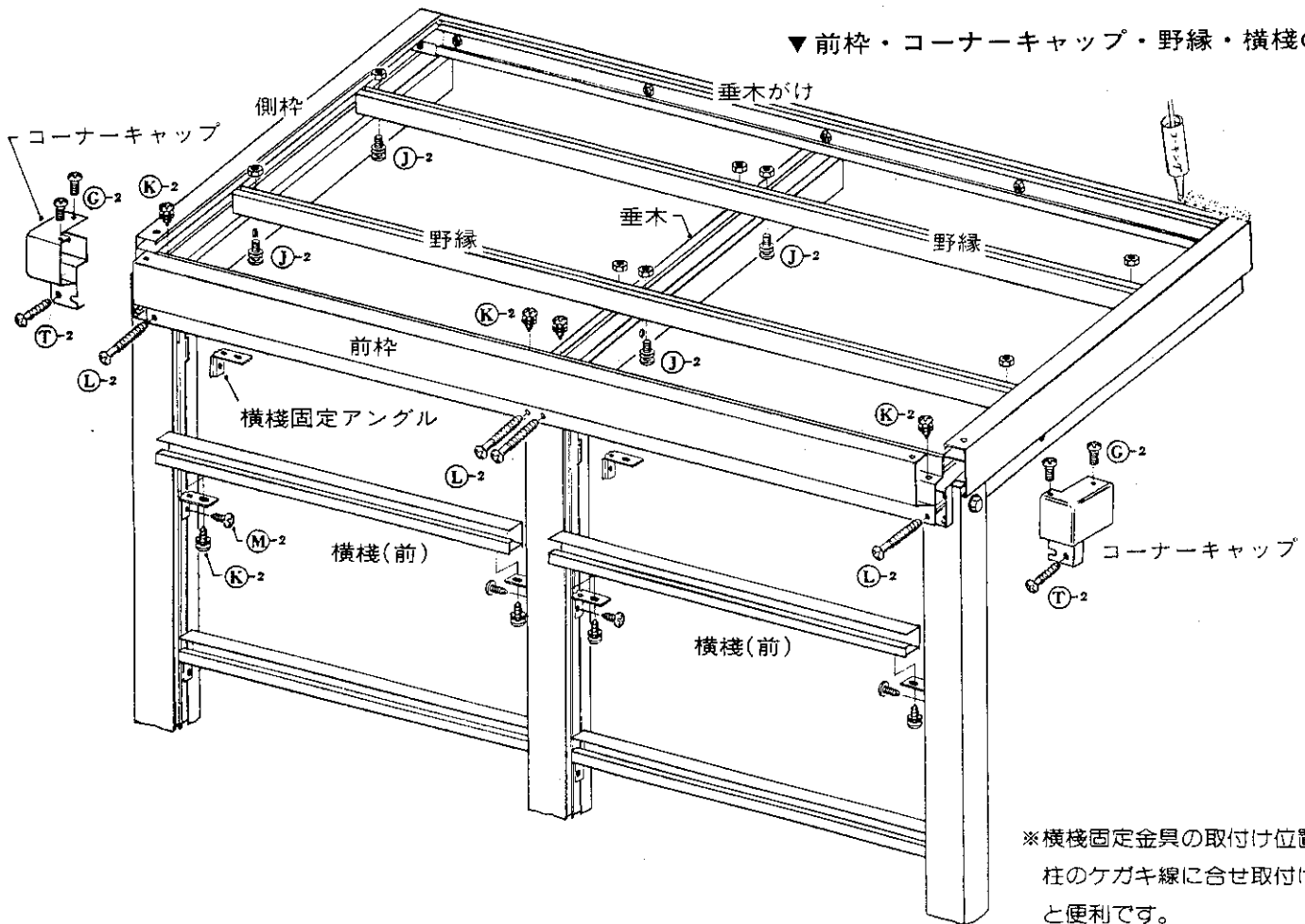
▼ 垂木がけ・コーナー柱・中間柱・側板・垂木の取付け



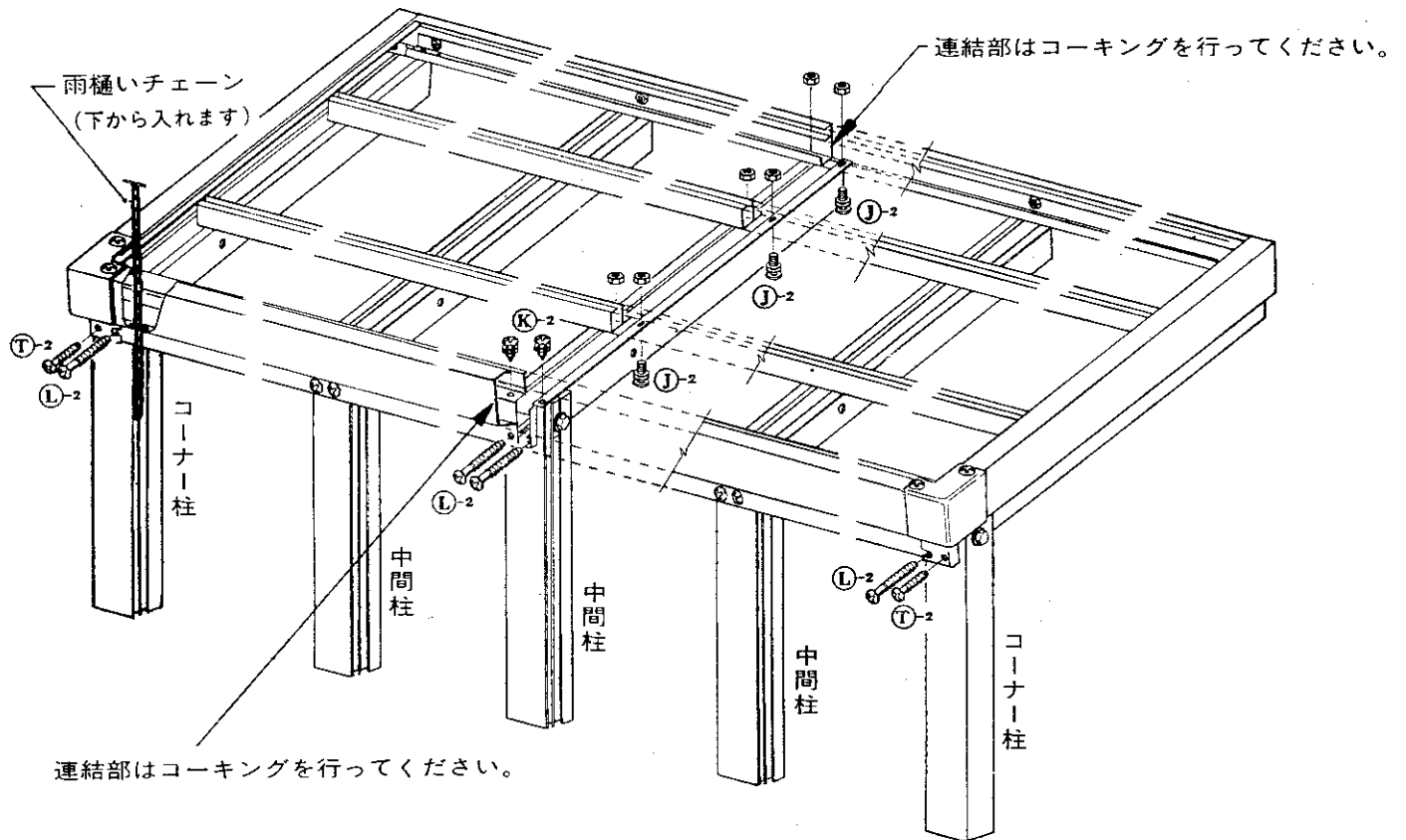
関西間の場合……垂木がけに躯体取付け穴はあいていません。

柱及び間柱位置に合わせφ6.5の穴をあけてください。

▼ 前枠・コーナーキャップ・野縁・横棧の取付け



▼ 連結型(3.0間4.0間タイプ)の場合



① = $\phi 6 \times 70$ 六角タッピン 1種

② = $M 4 \times 10$ トラス小ネジ

③ = $M 8 \times 60$ 六角ボルト (S W · P W · 袋ナット)

④ = $M 4 \times 12$ ナベ小ネジ (Wセムス · 六角ナット)

⑤ = $\phi 4 \times 12$ ナベタッピン 1種 (Wセムス)

⑥ = $\phi 4 \times 35$ ナベタッピン 2種

⑦ = $M 4 \times 10$ ナベ小ネジ 剣先

⑧ = $M 8 \times 45$ 六角ボルト (S W · P W · 袋ナット)

⑨ = $\phi 4 \times 30$ サラテクスネジ 2種

⑩ = $\phi 4 \times 20$ ナベテクスネジ 2種

⑪ = $M 4 \times 10$ トラス小ネジ (S W · P W · 六角ナット)

⑫ = $M 6 \times 20$ 六角ボルト

(S W · P W · 六角ナット)

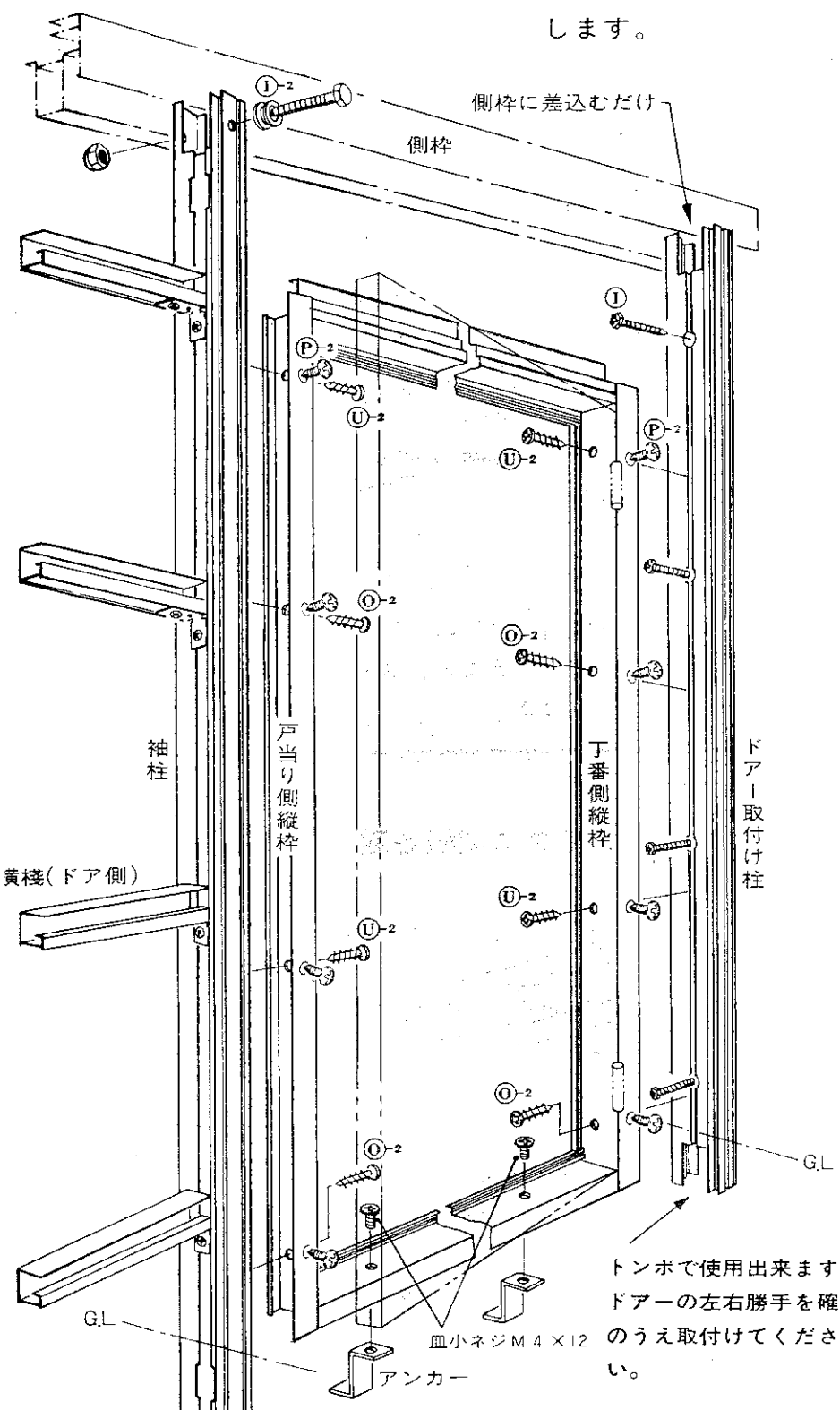
⑬ = $M 4 \times 12$ ナベ小ネジ (Wセムス)

⑭ = $\phi 4 \times 20$ 丸皿タッピン 2種

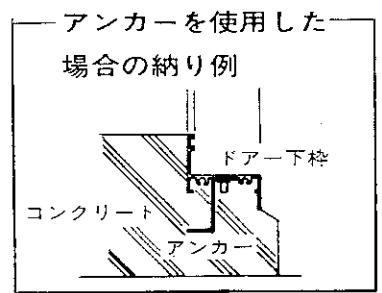
⑮ = $\phi 4 \times 30$ ナベテクスネジ 2種

【ドアの取付け方法】

1. 側枠にドア取付け柱と袖柱を取付け、横棧(ドア側)を固定します。
2. ドア本体とドア枠を一体に組立て、ドア取付け柱及び袖柱に各々ネジ止めします。



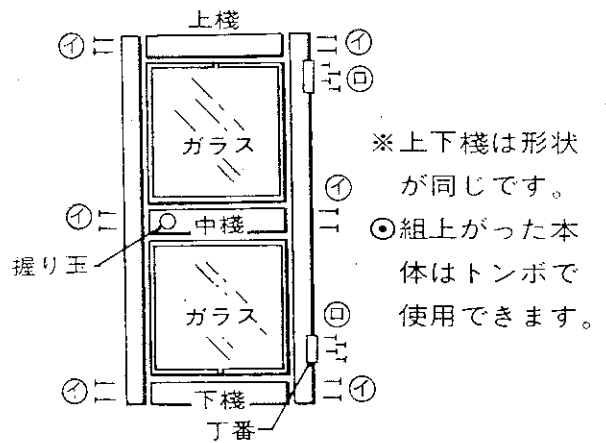
トンボで使用出来ます。
 ドアの左右勝手を確認
 のうえ取付けてくださ
 い。



▲上図は右勝手
 使用した場合です。

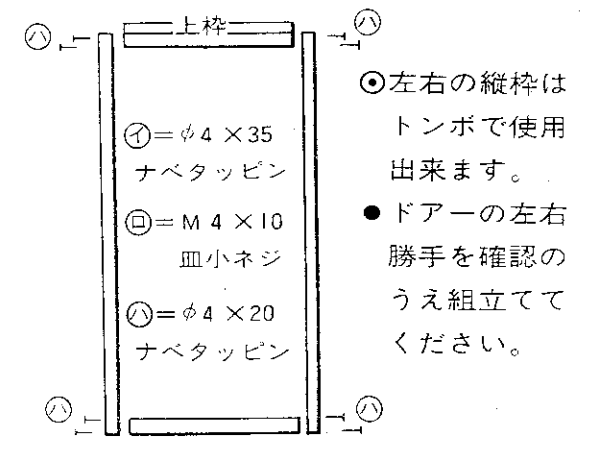
■ドアの組立て順序

1. ドア本体の組立て



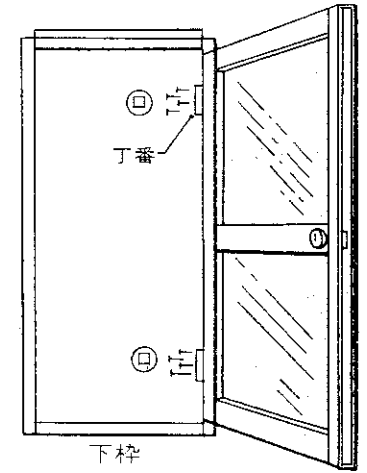
※上下棧は形状
 が同じです。
 ◎組上がった本
 体はトンボで
 使用できます。

2. ドア枠の組立て



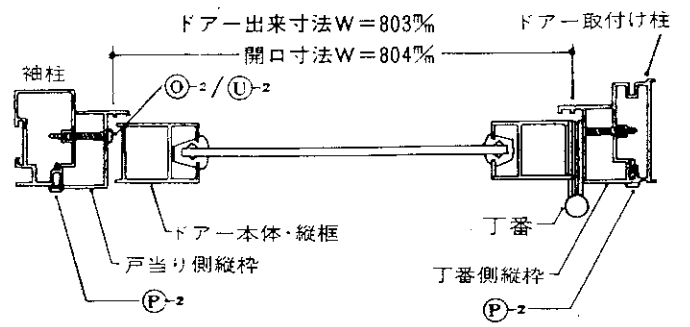
◎左右の縦枠は
 トンボで使
 用出来
 ます。
 ●ドアの左右
 勝手を確認
 のうえ組立
 てて
 ください。

3. ドア本体の枠への吊込み

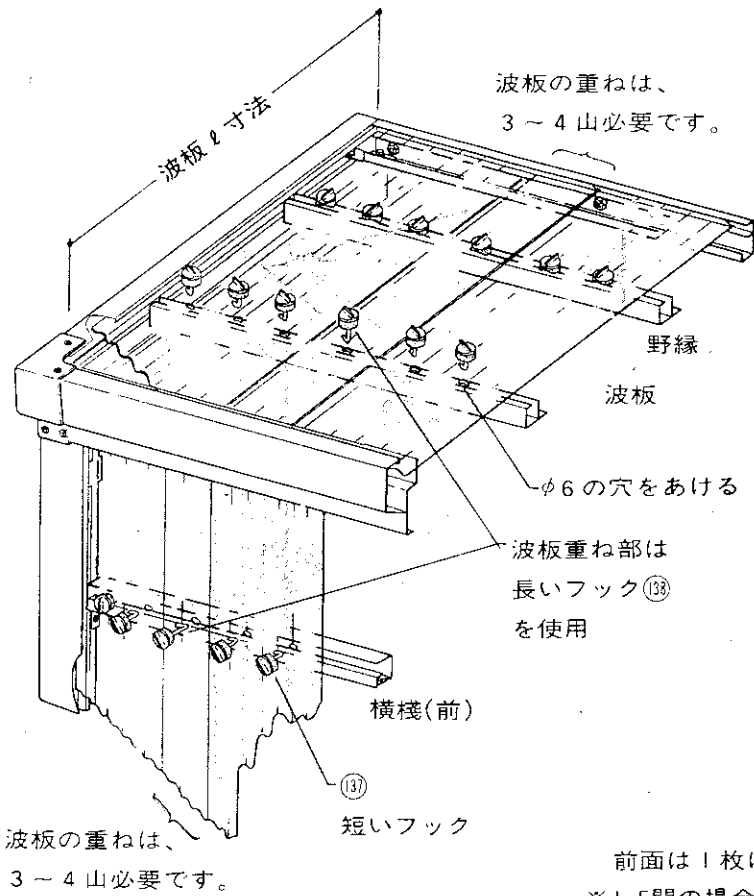


■ドア枠の固定

◎ドア取付け柱・袖柱は、ドア出来寸法に
 合せ取付け固定してください。



【波板の取付け】



◎屋根の波板寸法は出幅により異なります。

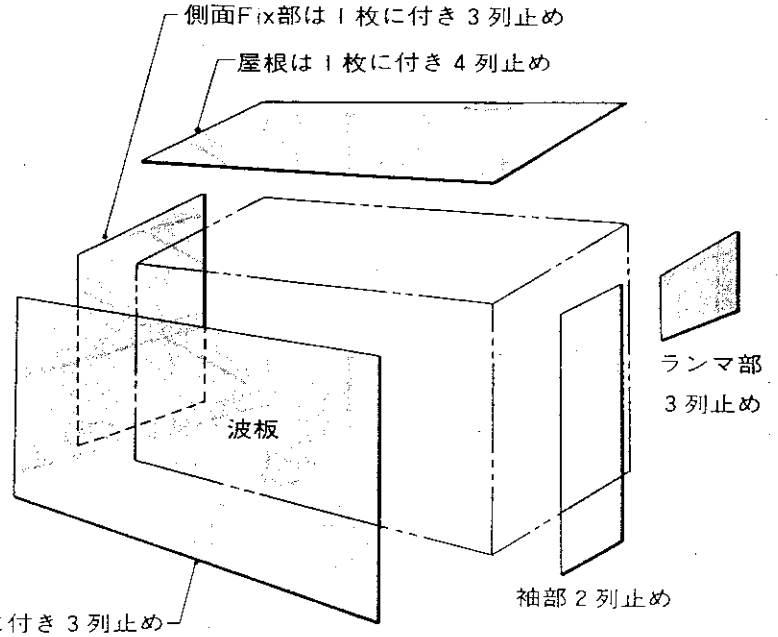
下記寸法を基準に切断してください。

●出幅4尺の場合…… 寸法1280mm

●出幅5尺の場合…… // 1580mm

●出幅6尺の場合…… // 1820mm

◎波板重ね部は長いフック、他は短いフックを使用します。

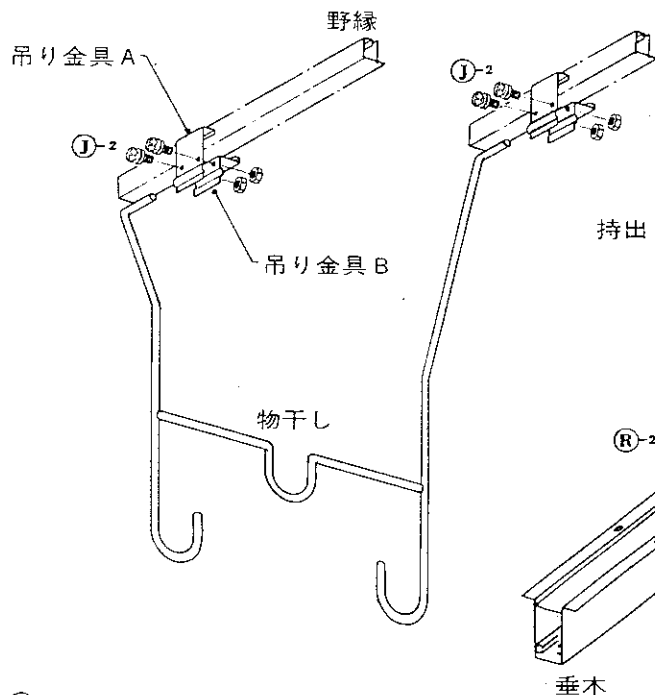


※1.5間の場合は、中間柱側(中央)が1/2枚となる為2列止めとなる。

【物干しセットの取付け】

◎別途有償で用意しております。

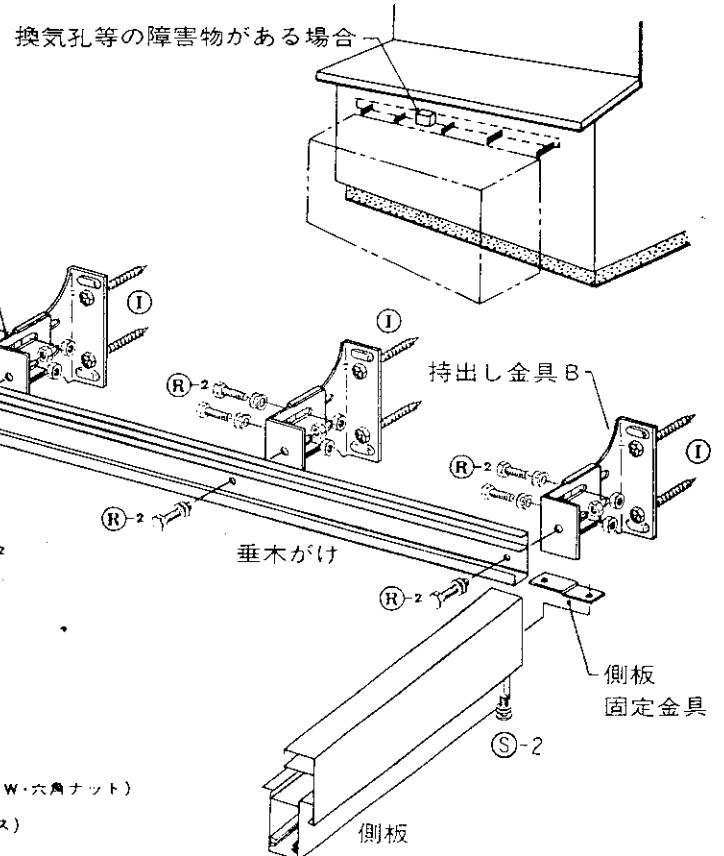
●吊り金具は、なるべく側枠の近くで固定してください。



【持出し金具を使用する場合】

垂木がけが躯体に直接取付けられない場合

下図のように金具Bを柱又は間柱部に固定し垂木がけを前に持出します。



① =φ6×70 六角タッピン1種

①-2=M8×60 六角ボルト(SW・PW・袋ナット)

②-2=M4×12 ナベ小ネジ(Wセムス・六角ナット)

③-2=φ4×30 サラテクスネジ2種

④-2=φ4×20 ナベテクスネジ2種

⑤-2=M6×20 六角ボルト(SW・PW・六角ナット)

⑥-2=M4×12 ナベ小ネジ(Wセムス)

⑦-2=φ4×30 ナベテクスネジ2種